

事務事業評価シート(平成21年度)

(施設の維持管理)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		生涯学習 課	安田一司	大豊幸広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
隣保館施設維持管理事業		新規 <input type="radio"/> 継続	年度 <input type="radio"/> H20以前	年度 <input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 3 地域から、やる気 たかまるまち	(節) 1 仲間になる	
	個別計画	(基本計画) 人権尊重のまちをつくる(基本的人権の尊重)		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
社会福祉法、隣保館設置運営要綱		ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
設備は、専門業者と委託契約をして定期的な点検整備を行っている。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働かせる相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
職員、専門業者	定期的に点検整備を行う	安全で適切な施設管理を行う

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>										会計名	会計			
細目名	隣保館活動事業				細目名					細目名				
予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業	予算コード	款	項	目	大事業
	3	1	7											

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績	22年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト		千円	1,002	1,002	1,002	委託料と職員人件費である
コストの内訳	直接事業費		159	159	159	
	所属内間接費					
	人件費	843	843	843		
投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.10	0.10	0.10	
財源内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,002	1,002	1,002	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標
1	自動ドア保守点検業務	点検回数	回	4	4	4
2	清掃業務	清掃回数	回	2	2	2
3		委託契約により定期的 に点検、清掃を行う				
4						
5						

(施設の維持管理(B面))

事務事業名 [隣保館施設維持管理事業]

6 事務事業の実績 <Do③>		20年度実績	21年度予定	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
自動ドア点検回数	回	4	4	4	定期的に実施することが必要である
清掃回数	回	2	2	2	

7 事務事業の事後評価 <Check>		(施設の維持管理事業)				担当の把握している課題
チェック項目		該当項目に「○」				
必要性	需要への対応性	受益者(利用者)の割合は	高い	<input type="radio"/> 高くない	把握なし	
		利用者・対象者数は	増加	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> 横ばい	
妥当性	連携の可能性	他の施設と連携・統合できる可能性は	ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難	
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難	
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	あるが困難	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	H20年度から3年契約を締結している	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
		業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
有効性	持続の可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		
		歳入確保を検討する余地は	ある	<input type="radio"/> ない		
		環境に配慮されて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		
市場化の可能性		更なる委託化の余地あり	<input type="radio"/> 更なる委託化は不可能			
		指定管理者制度を検討する余地あり	<input type="radio"/> 指定管理者制度を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1.改善の余地はない		2.改善の余地がややある		
		3.改善の余地が多い		4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>隣保館施設維持管理事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 施設利用における最小限度の維持管理を行っており、特に改善するところはない。 施設利用者には、高齢者が多く、急な階段での上り下りに不安がある。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 建設から40年余り経過しているが管理状態は良好で、大きく改修する箇所もない状態である。住民の人権学習の拠点であり今後も継続しなければならない。 ・適正な管理に努めており、管理状況も良好であるので、この状態を維持していかなければならない。									
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		内部評価	3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状のまま維持する。									
事業評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
現状を維持していくべきである。									